

会社概要

# OVERVIEW

会社名 日本工機株式会社

資本金 20億円

創業 1933年3月1日

代表者 代表取締役社長 平田 和彦

株主 日油株式会社  
株式会社日本製鋼所

本社 〒108-0014  
東京都港区芝5丁目26-16 Mita S-Garden 3F  
TEL 03-3436-3711 [代表]  
FAX 03-3433-5505

白河製造所 〒961-8686  
福島県西白河郡西郷村大字長坂字土生2-1  
TEL 0248-22-3111 [代表]  
FAX 0248-22-2712

美唄製造所 〒079-0167  
北海道美唄市光珠内町549  
TEL 0126-67-2211 [代表]  
FAX 0126-62-1114

# CORPORATE PROFILE

<https://www.nippon-koki.co.jp/>

 **日本工機株式会社**  
Nippon koki Co.,Ltd.

※記載内容は、2025年8月現在のものです。

 **日本工機株式会社**  
Nippon koki Co.,Ltd.

# 「まもる」技術で 未来を創造する

「ひと」を守り、「国」を衛り、「未来」を創る

「まもる」。

「ひと」を守る、「国」を衛る。

1933年の創業以来、変わることのない当社の使命です。

火工品技術と精密金属の加工技術。

90年もの長い間、培ってきたものづくりの技術をベースとして

防衛装備品を中心に、防災・防犯分野、自動車加工品分野、

宇宙計画へと「まもる」分野を広げてきました。

背景には、日々変わりゆく、

そして危機感の増している情勢があります。

甚大な被害を及ぼす自然災害、学校や地域など、

身近な日常生活の中で、増えつつある犯罪。

世界に目を向ければ、争いが生まれ、

軋轢が危機をもたらしています。

日本工機の技術力を通して「まもる」を

これから先も提供し続けていきます。

Protection  
Creates the  
Future.

# MESSAGE

## 「まもる」をミッションに

「まもる」。「ひと」を守る、「国」を衛る。1933年の創業以来、変わることのない当社の使命です。

火工品技術と精密金属の加工技術。90年もの長い間、培ってきたものづくりの技術をベースとして防衛装備品を中心に、防災・防犯分野、自動車加工品分野、宇宙計画へと「まもる」分野を広げてきました。

背景には、日々変わりゆく、そして危機感の増している情勢があります。甚大な被害を及ぼす自然災害、学校や地域など、身近な日常生活の中で、増えつつある犯罪。世界に目を向ければ、争いが生まれ、軋轢が危機をもたらしています。

私たちの社会を支え、守るために、安心して暮らせる毎日をつくるために。「まもる」技術を進化させることは、より重要な使命となり要望に対して、より高度に応える必要性が増しています。

金属加工から火薬類製造、組み立てまでを自社一貫生産。実験設備で検証しつつ、着実な完成へと至る過程。社員一人一人が抱く「まもること」の自負と強い思い。

3つが一つになって、社会のために、暮らしのために技術を進化させ、安心の未来へとつなげていきます。



Kazuhiko Hirata

代表取締役社長  
平田 和彦

## 私たちの使命

“まもる技術”を進化させ、社会に貢献します。私たちは、国をまもる、地域社会をまもる、そして家庭をまもるために、“まもる技術”を進化させ、わが社でなければ出来ない価値ある商品を創造し、社会に貢献します。

# VISION

企業理念

### 私たちの経営姿勢

“安全を全てに優先”し、お客様が満足する商品を提供します。私たちは、社会のルールを守り、環境との調和に努め、“安全を全てに優先”して、お客様が満足する世界最高水準の商品を創り、提供します。

### 私たちの行動

輝く未来に向かって“挑戦”し続けます。私たちは、仕事に誇りと責任を持ち、絶えず自分を磨き、明るく豊かな未来の実現に限りなく“挑戦”し続けます。

## 企業理念を実現するために

### 行動指針

#### 01

私たちは、公共の安全、わが社の商品を使用する人々の安全、従業員及び関係する人々の安全を全てに優先します。

#### 02

私たちは、常に社会情勢の変化に対応したコンプライアンス体制を確立し、社会の模範となります。

#### 03

私たちは、将来に向けて常に地球環境保全をはじめとして地域、社会の共通の目標に貢献します。

#### 04

私たちは、一人ひとりが品質と信頼性を追求し、お客様に喜ばれる商品・サービスを提供します。

#### 05

私たちは、叡智を結集して、わが社固有のまもる技術を応用・展開し、お客様のニーズに応えるオンリーワンの商品を創造します。

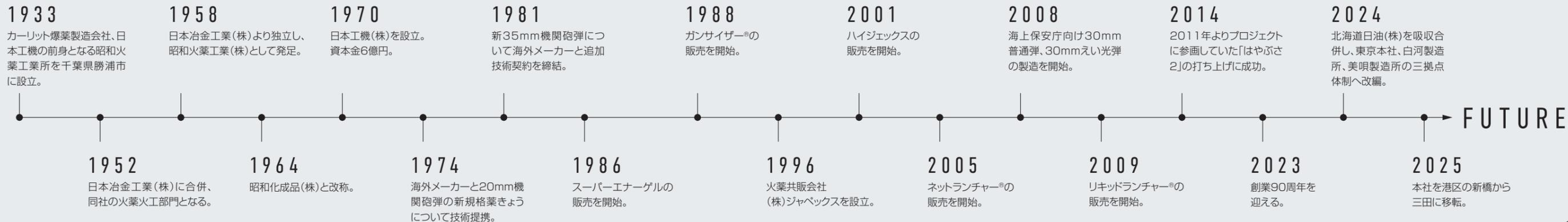
#### 06

私たちは、適正な利益を確保し、株主、従業員及び係わり合う人々に貢献します。

#### 07

私たちは、働き甲斐と豊かな生活の実現に向かって、意欲ある挑戦をしつづけます。

# HISTORY 沿革



FUTURE

## 設計や開発、 そして廃棄まで。 「まもる」を支える、 確かな事業。

弾薬などの防衛装備や産業用の爆薬の製造が、日本工機の主力事業です。

金属加工から火薬類製造・填薬・火工品類組立て・廃棄まで自社での一貫体制を構築しており、専用試験場にて評価試験を行う防衛用弾薬類を中心に、高精度と高い信頼性の製品を提供しております。

また、この間培ってきた火工品技術と精密金属加工技術をベースとして、産業用火薬類・一般産業用精密加工分野等の民生品事業へも展開し、多くの製品を生み出しています。

# Integrated System

### 設計・開発

独自の開発能力・高精度なシミュレーション技術を有しており、顧客のニーズに合わせた製品を開発・提供しています。

加工工程中には5000点にのぼるゲージを使用し高精度な設計と開発を担っております。

### 製造・加工

基礎研究をもとに、独創的で価値ある製品を量産しお客様に提供しています。

#### ■防衛事業

・自衛隊で使用する銃砲弾をはじめとする各種火工品の製造。

#### ■産業用火工品事業

・ダム、トンネル、土地造成等の土木工事、砕石、石灰岩の爆破作業に使用される産業用爆薬。  
・低振動・低騒音を実現した非火薬系破砕薬：ガンサイザー。

#### ■防犯・防災事業

・簡単な操作で瞬時に網が飛び出す防犯装置：ネットランチャー。  
・産業機械やエンジンなどを火災からまもるエアロゾル自動消火システム。

#### ■凍結防止剤事業

・環境に優しい非塩化物系液状凍結防止剤：カマグ。

### 評価・試験

射撃試験、燃焼試験、爆破試験等の専用試験設備を自社で保有し、各種性能評価試験を行っております。

### 火薬類廃棄事業

日本最大の処理施設を有し、安全で確実な処理技術により様々な火薬類を廃棄処分しています。

- 不要弾薬・不発弾の廃棄、処分
- 産業用火薬類の廃棄、処分

技術力

# TECHNOLOGY

## 高性能を狙う 誤差の許されない 信頼性

「まもる」技術のリーディングカンパニーとして、常に新しい試みに挑戦しています。創業から手掛けてきた火薬・爆薬の可能性をより多岐に応用できる技術の集約化が今後の命題であり、あらゆるニーズへの対応が可能な土壌を日々培っております。

### 高品質な製品 High Quality

国内唯一の銃砲弾一貫製造メーカーとして、1933年の創業以来、長年にわたり弾薬の開発と製造に携わり、高品質な製品を提供し続けております。品質管理を徹底し、厳格な製造プロセスを経て製造された製品は、信頼性と安全性が確保されており、各方面から高い評価を得ております。

### 技術革新 Innovation

最新の技術と最先端の製造設備を活用して、弾薬の製造プロセスを常に改善しています。時代の一步先を見据えた研究開発に日々取り組んでおり、新素材や新たな製造方法を導入することで、効率的かつ高性能な製品を提供しています。

### 独自の開発力 Development

独自の開発能力・高精度なシミュレーション技術を有しており、顧客のニーズに合わせた製品を提供しています。日本工機のエンジニアは、製品の設計と開発において幅広い知識と経験を持っており、柔軟な対応が可能です。また、海外企業との技術提携も積極的に行い、知識を吸収しながら自社技術の開発力強化を図っています。

FEATURE

## 小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトに参画



### 衝突装置の開発でプロジェクトに寄与

日本工機が参画したのは、衝突体を形成するための「衝突装置／爆薬系」の開発です。「衝突装置」とは、小惑星の表面に人工のクレーターを形成するための装置です。「はやぶさ2」から衝突装置が分離され、小惑星の上空で作動し、金属の衝突体を小惑星に撃ち込みます。衝突体は、質量約5kgの爆薬の爆轟によって銅製のライナーが変形しながら飛翔し、形成されます。この時の衝突体の飛翔速度は秒速2,000mに達します。



### 「はやぶさ2」プロジェクトとは

「はやぶさ2」は、2014年12月に、小惑星「Ryugu(リュウグウ)」を目指して打ち上げられた小惑星探査機です。小惑星の表面に人工のクレーターを形成して小惑星内部の石や砂のサンプルを採取するという世界初の試みに、日本工機の技術が活用されました。サンプルを回収したカプセルは2020年12月に帰還し、プロジェクトは成功。技術的な貢献を評価され、日本工機の社員が市村学術賞貢献賞を受賞しました。



惑星に降下する衝突装置



衝突装置の作動



市村学術賞貢献賞を受賞

## 製品一覧

# PRODUCT

### 防衛用装備品

自衛隊および海上保安庁へ納入される銃砲弾ならびに各種火工品を製造しています。特に、12.7mm～35mmまでの小・中口径弾薬は国内では当社だけが製造しており、金属加工から火薬の製造、組立まで自社で一貫製造を行っております。

こうした技術と専用の設備を備えている例は世界でも珍しく、国内では唯一のメーカーです。高精度な技術力と高い信頼性で、わが国の防衛基盤の確立に寄与しています。



出展：航空自衛隊HP



出展：陸自調査団HP



出展：海上自衛隊HP



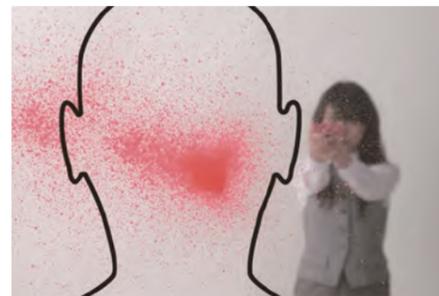
### ガンサイザー®

岩盤、岩石、コンクリート構造物などを薬剤の熱分解により発生する水蒸気圧で瞬時に、しかも低振動で破碎します。ご使用に関して火薬類取締法の適用は受けません。販売開始から35年で1000件を超える工事実績があります。



### ネットランチャー®

発射スイッチを押すだけの簡単な操作で瞬時に網が飛び出し、不審者に絡まり動きを抑制(射程距離:約2m～3.5m)。その間に避難する時間を稼ぐことができます。学校や幼稚園のほか、警備、店舗窓口等での防犯にご活用ください。



### リキッドランチャー®

発射スイッチを押すだけの簡単な操作で液体が高速で噴射されます。液体には催涙液とマーキング液があり、不審者の追跡・確保に役立ちます。学校や幼稚園のほか、警備、店舗窓口等での防犯にご活用ください。



### エアロゾル自動消火システム STAT-X®

各種産業機械やエンジンなどを火災から守り、工場や客室への被害の拡大を防止するために開発された自動消火システムです。電気配線のみで設置可能なシンプル構造、軽量かつコンパクトなサイズで設置場所を選びません。



### 産業用火薬類

採鉱・砕石、土地の造成、トンネル掘削などの各種土木工事で岩盤・コンクリート等を破壊するために使用される火薬類の総称です。高比重・高威力・高殉爆が特徴で、代表的な製品にANFO爆薬、電気雷管があります。



### カマグ® オートカマグ®JET

冬期雪氷路面の安全を確保するための環境に優しい酢酸系液状凍結防止剤「カマグ®」とその散布装置「オートカマグ®JET」です。さらに空港、鉄道、畜産、土木等、さまざまな分野における雪氷対策用に、環境に優しい各種凍結防止剤、不凍液をご用意しております。

# One-Stop Service

製造から廃棄まで自社工場による一貫体制

## 自社工場 FACTORY

### 伝統と革新が生まれる場所

日本工機の生産拠点は、福島県の白河と北海道の美唄の2ヶ所にあります。

それぞれ異なる役割を担い、創業以来培ってきた伝統の技術と、新たなニーズに対応するための革新の技術で、これからも「まもる」力を生み出し続けていきます。



#### 白河製造所

白河製造所は研究・開発・生産の拠点であり、約140万坪(東京ドームおよそ100個分)の広大な敷地で日本工機の技術を支えている基幹事業所です。

主力製品である弾薬・爆薬の可能性をより多岐にわたって応用できるよう、技術の集約化を目指し、あらゆるニーズに対応できる活用方法と技術の高精度化に日々取り組んでいます。



#### 美唄製造所

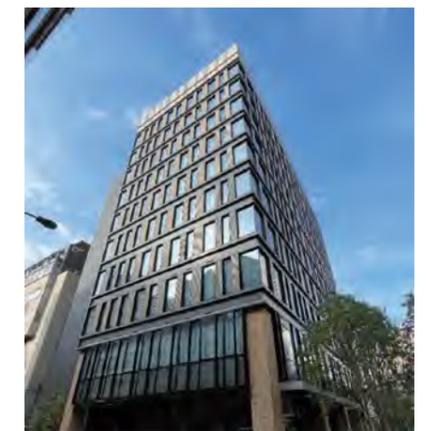
製造所を立ち上げた1954年から続く伝統的な技術で、高品質な火薬製品を製造しています。

凍結防止剤事業では環境に配慮した製品づくりに取り組み、雪国ならではの発想で北海道から全国各地に展開する事業を行っています。凍結防止剤と共に散布装置も提供できるのは国内で日本工機だけです。

美唄製造所

白河製造所

本社



#### 東京本社 (東京都港区)

2025年、これまでの拠点であった新橋から三田へ本社を移転。防衛用装備品や民間製品を扱う営業部門のほか、オンライン受注やアフターサービスに対応する部門などを擁し、日本工機のヘッドクォーターとして機能しています。

# FEATURES



## 01 安全性の向上

高品質の製品をお客様に提供し続けるためには、製造工程における安全性の向上が不可欠です。従業員の安全のために実施している取り組みの一例をご紹介します。



### 設備安全

- 生産技術情報の確実な共有と伝承
- 防災・保安対策の強化
- 新設・変更時の安全評価の実施



### 物流安全

- 協力運送会社に対し、火薬類取扱法に基づいた保安教育を実施

### 労働安全教育・訓練

- 幹部従業員教育(火薬類製造保安)の実施(年2回)
- 事故例教育の実施(月1回)
- 保安教育(火取法等)の実施(月1回)
- 視聴覚教育(労働安全・交通安全)の実施(年4回)
- SDS教育の実施(月1回)
- 未熟練従業員教育の実施
- 体感教育(社内)の実施
- 社外研修等による教育(能力向上教育等)
- 作業計画を要する危険な作業等の教育(年1回)
- KYT(実作業を中心としたテーマ)の実施(週1回)
- 既存作業のリスクアセスメントの実施
- 既存作業の化学物質リスクアセスメントの実施
- ヒヤリハット報告活動(月1件提出)
- 各種安全衛生パトロールによる不安全箇所の抽出と改善
- 「エイジフレンドリー」&「見える」安全活動コンクール



## 02 品質管理

「まもる」という当社のミッションを完遂するため、品質管理に妥協は許されません。米国のMIL仕様書を基盤としてノウハウを積み重ね、改善を繰り返して完成した日本工機の品質管理は80を超える手順書によって構築されており、今も進化を続けています。



### JISQ9100 取得 [ 本社・白河製造所 ]

JISQ9100は、航空宇宙・防衛産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格です。世界の航空宇宙・防衛産業でグローバルな部品調達基準として採用されています。



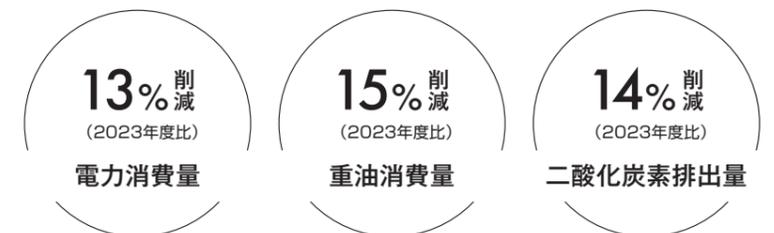
### ISO9001 取得 [ 本社・白河製造所 ]

品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001の認証を取得し、品質向上の体制強化や法令遵守、顧客満足度の向上のための取り組みを推進しています。



## 03 環境への取り組み

地球環境に優しいモノづくりを。日本工機は製造における環境負荷低減のため、さまざまな取り組みを行っています。



※いずれも生産販売活動の変動を考慮し算出。(2024年度実績)



### ISO14001 取得 [ 白河製造所 ]

環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得し、環境保全に向けた取り組みを推進しています。